

『富永式学習メソッド』

ミラクルロード指導マニュアル

■教材

英語・数学・理科・社会の4教科です。

■富永式学習メソッドとは・・

『富永式学習メソッド』は高校入試に必要な基礎学力をしっかりと固めることにより成績を飛躍的に向上させる学習手法です。この学習方法は当塾で23年の歳月をかけ、実際の現場で改良を重ねて作り上げた学習方法です。過去5年間の検証で間違いなく結果に出る確証が得られました。誰にでも出来るように、且つ短期間で結果が出るように作られた究極の教材です。この教材を指示通りやることによって必ず顕著に結果が出てきます。当塾では夏休みの30日間で最高17点(偏差値)アップした生徒も出てきています。夏休みの30日間で全塾生平均6点(偏差値)アップを達成しています。また、導入塾では200時間の演習で中3生平均偏差値8アップというところも出てきています。

■1日に必要な学習時間

右肩上がり成績を向上するために必要な学習時間は1教科あたり週に5時間です。つまり5教科で週に25時間。それを7日間で割ると1日当たり必要な学習時間は3.5時間です。この学習量をこなすことによって飛躍的に点数が出てきます(偏差値5～10以上アップ出来ます)。あとは時間との勝負です。学習量に比例して結果は必ず出てきます。

■成績が顕著に上がらない原因

原因1: 試験範囲の8割以上終了できていない場合は点数に出てこない場合があります。

原因2: 特に弱い分野は2回(冊)繰り返しましょう。定着が甘いことが原因です。

原因3: いい加減にやっている場合。本人がやる気を持って取り組まなくてはなりません。嫌々やっている場合は結果に出ない場合が多いです。

■質問

学習の進め方に対する質問は下記のメールアドレス、または電話番号まで直接お問い合わせ下さい。

株式会社 富永教育経営研究所

本社:〒861-1102熊本県合志市須屋1921-2

東京支社:東京都千代田区神田須田町1-26-6オーキッドプレイス901

E-mail : <mailto:saikyou@soku-up.com>

TEL:03-3256-0299 FAX:03-6779-4888

富永式学習メソッド「即アップミラクル」の進め方

STEP1 学力診断(担任が行ってください)

模擬テスト等の結果に基づき、学習診断ソフトを使って学力診断書を作成する。各生徒の弱点分野等を明確にし、本人に自覚させることが大切です。

〔学力診断の時期〕

学力診断の時期は各季節講習の前と後に行ってください。季節講習前に学力診断を行うことによって季節講習の意義が明確になり、受講率も高まります。

〔学習量を増やす工夫〕

季節講習後の学力診断は生徒のその学期の課題を明確にします。通常の授業の学習だけでなく、今まで学習した範囲での弱点箇所をミラクルロードで学習させるようにしてください。この意識付を行うことによって、相対的な学習量が増えることとなります。これが学力アップにつながります。

STEP2 生徒面談(担任が行ってください)

生徒面談を行い、志望校・目標に応じて最終目標点、次のテストの目標点を明確にする。

〔半年で偏差値20アップが可能です〕

この学習法で学習することによって、6ヶ月で偏差値を最高20点まではアップさせることができます(当社の実績です)。生徒のモチベーションさえあれば不可能はないという姿勢で面談を行ってください。生徒が心の底から行きたいと思う高校を具体的に目標に設定する。また、目標とする点数を明確にする。これらによって生徒のモチベーションアップにつながります。そして、奇蹟は起こります。必ず出来るという姿勢で生徒面談に臨んでください。

〔1学期、夏期講習までの対応〕

中3の場合、1学期、夏期講習までは1・2年の内容の基礎固めに取り組んでください。特に英語、数学は基礎力を養成する(実際に顕著に点数に出す)ためには、理科、社会に比べて時間がかかります。1学期、夏期講習までに中1・2分野はすべてやり終える計画を立ててください。

中2・中1の1学期は中間・期末テストに向けて学習を進めます。期末テストが終わり次第、中2は中1の内容、中1は1学期の内容の復習を行います。そして、夏期講習中に2学期中間テストの予習まで行わせてください。圧倒的成績アップを達成するには誰よりも早いスタートが重要になります。

〔2学期以降の学習指導〕

中3の場合、2学期になると入試までの時間が限られてきます。そのため、弱点箇所をピンポイントでやっつけてゆくことをお勧めします。入試までの時間を考えると、社会や理科に重点を置いた方が全体的な点数アップにつながり易い。英語・数学は、中途半端にならないように重点的に時間をかける必要があるため、取り組ませる場合残り時間との兼ね合いで注意が必要です。

中1・2年生の場合、授業の進度に沿ってミラクルロードを取り組ませます。また、学習診断書で弱点部分を明らかにし、その部分をピンポイントで取り組ませます。

【モチベーションの低い生徒への対応】

モチベーションの低い生徒は、結果が出ないとすぐにあきらめてしまう傾向があります。そのため結果に出にくい

英語、数学より結果の出やすい社会・理科に重点を置いて学習をさせた方が効果的です。結果が出るとモチベーションが一気に上がります。その後英語・数学に力を入れていくほうが良いようです。ただし、英語か数学だけが特に苦手という生徒に関しては、その教科を中心に進めると良いと思います。

各生徒がどの教科にどのくらい時間をかけるかは、あくまで担任と生徒の面談で決めてください。その面談結果を各教科担当に伝達し、それぞれの教科の学習計画を立ててもらい（担任との面談で各教科の進め方まで決めても良い）。なお、面談を行う者は、事前に各教科の進め方やテキスト毎の所要時間についてある程度理解しておく必要がある。

STEP3 学習計画を立てる(担任or教科担当)

生徒の学力と目標点、学習時間数を基に、各教科の学習計画を立てる。

「どこまで勉強したら〇〇点取れるようになる」といった具体的な結果(予想)を話しながら、生徒のモチベーションを更に上げるよう努める。

STEP4 即アップコースの進め方

1人の講師で生徒30名程度までは指導可能。講師の力量しだいではもっと多くの生徒も可能です。出来るだけ1つの教室で1つの教科を指導するようにした方が良い(生徒たちにこの教室ではこの教科を勉強するんだという意識を持ってもらうため、生徒が1つの教科・分野に集中して取り組むため、講師の負担を軽くするため)が、講師が複数教科指導できるのであれば、1つの教室で複数教科指導しても良い。

最初の授業では、各生徒にどこから始めていくかを明確に指示する。

各生徒は、自分で問題を解き、自分で答え合わせを行い、自分で間違った問題を理解するよう努め、間違い直しを行い、進めていく。

講師は机間巡視を行いながら、教室全体の管理と各生徒の進行状況の把握に最も力を注ぐ！！

特記【数学、理科の対応】

数学、理科は質問が出やすい教科です。しかし、安易に質問をさせると收拾がつかなくなるおそれがあります。また、自立学習を行う姿勢を養うためにも安易な質問はしないように癖付を行ってください。分からない問題があった場合は解答と解説を見て考えさせてください。そして、ミラクルロード解説授業を視聴する。それでも分からない場合は質問をするようにさせてください。これにより、自分一人でも学習出来る姿勢が身に付きます。

(参考)生徒たちから同じ内容の質問が多数ある場合、その生徒たちを集めホワイトボードや個別指導形式などで一斉に教えるとより効率的です。また、ミラクルロード解説授業を有効利用することにより多くの生徒に対応することが出来ます。絶対に、生徒同士で教え合うことは行わないでください。教室の緊張感が損なわれます。

STEP5 出来の確認

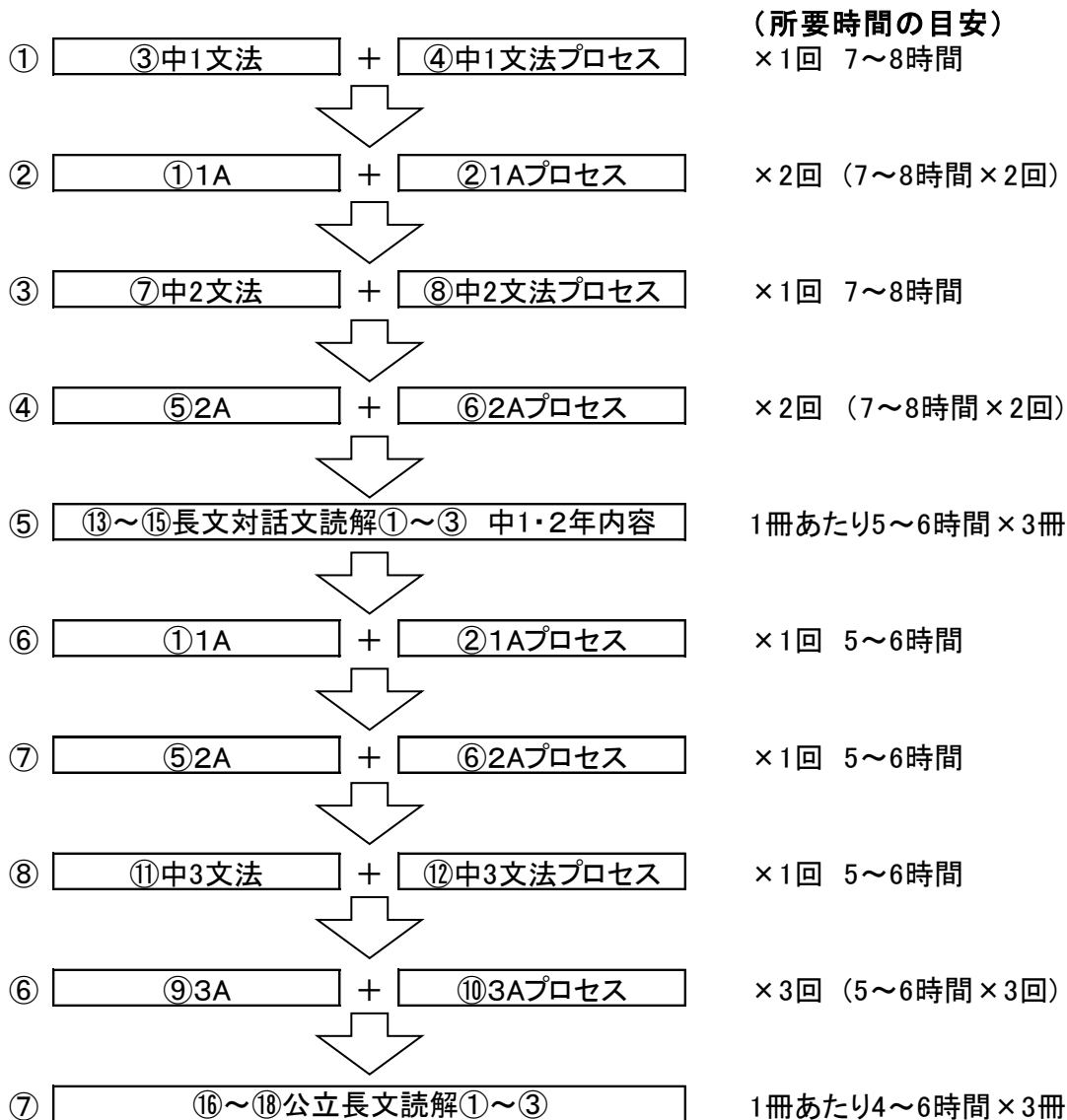
生徒がテキストを1冊解き終えたら、必ず講師に提出させ確認してください。
対応の仕方は、教科によって異なる。

STEP6 次のテキストへ進む

■英語の進め方

下記の順番で学習を進めてください。今までの検証により、英語教科の学力は構文の暗記がもっとも短期間に顕著に結果に出てくることが証明されました。次に長文読解です。長文読解は単語力です。この教材は単語力を養成しながら長文読解をすすめるようになっていきます。この過程が最も短期間に顕著に学力を伸ばすことができます。

※プロセスノートは、ミラクルロードのやり直し用(復習)として使用します。間違ったところをプロセスノートに書いていって復習できるようになっています。しかし、学力が極端に低くミラクルロードが全く解けないような場合は先にプロセスノートをしてからミラクルロードに取り組んで下さい。



■文法編(③中1(2・3)文法)の進め方

構文編(①1A, ⑤2A, ⑨3A)を行う前に使用します。まずは、文法編で文のつくり方、構成を学習しましょう。その後、構文編で英作文の練習を行います。

文法編の各文法ページの初めに「ポイントのまとめ」があります。そのままノートに写し書きすることによってポイントが頭に入ります。その後、練習問題を行ってください。單元ごとに文法事項のエキスばかりを集めてあります。この内容だけしっかり覚えれば簡単に出来るようになります。

「④中1(2・3)文法プロセス」は復習用教材です。間違ったところをやり直すようになっています。短期間で最重要ポイントが理解できるようになっています。必ず2冊セットで生徒に渡してください。

一度やり方を覚えると、その後の学習で正しい学習プロセスをたどることが出来るようになります。

■構文編(①1A, ⑤2A, ⑨3A)の進め方

文法編「③中1文法」が終了したら、構文編「①1A」を進めます。独力で英作文にチャレンジしてください。何も見ないで日本語を英語に直すように指導してください。

1ページ終わったら解答を見て間違い直しをします。間違ったところは「②1Aプロセス」で該当箇所のやり直しをしてください。単語は自分が覚えていない単語のみ、構文は日本語訳を1回、**英文を5回以上**書いてしっかり暗記しましょう。

やり直しが済んだら、裏面をもう一度やりましょう。

間違いが3問以内ならば間違った文だけやり直しましょう。4問以上間違った場合は1ページ全文を解き直してください。再び間違ったらその文を再度5回**以上**ノートに書きましょう。

そして、「1Aテスト用紙」でチェックテストを行います。2問間違いまで合格です。合格できるまでチェックテストを繰り返してください。

合格できたら次のページに移ってください。

■長文読解編(⑬～⑮長文読解①～③, ⑯～⑳公立長文読解①～③)の進め方

長文読解は先ず単語の暗記から始まります。長文に出てくる単語をあらかじめ書いて覚えさせます。知っている単語は1回(英語と日本語)、知らなかった単語はテキストの右端まで何回も書いて覚えさせてください。

そして、全部覚えたら、長文を全訳します。必ず日本語訳を英語原文の下に書かせてください。そうやって設問にも答えていきましょう。設問の英文も必ず日本語訳をしましょう。こうやって全ての文章を全訳することによって読解力が付いてきます。

全訳したら日本語訳例を見てチェックしてゆきましょう。間違っして訳しているところはないかしっかりチェックしてください。

この作業を続けてやり終えてください。やり終えた頃には、長文読解力が格段についていることに気づくと思います。

英語教材一覧

NO	教材名	内容	分野
1	1A	中1重要構文	中1
2	1Aプロセスノート	1A復習用教材	中1
3	中1文法	中1文法速習用教材	中1
4	中1文法プロセスノート	中1文法復習用教材	中1
5	2A	中2重要構文	中2
6	2Aプロセスノート	2A復習用教材	中2
7	中2文法	中2文法速習用教材	中2
8	中2文法プロセスノート	中2文法復習用教材	中2
9	3A	3A重要構文	中3
10	3Aプロセスノート	3A復習用教材	中3
11	中3文法	中3文法速習用教材	中3
12	中3文法プロセスノート	中3文法復習用教材	中3
13	長文対話文読解①	中1・2年分野長文対話文読解速習用教材	中2～中3
14	長文対話文読解②	中1・2年分野長文対話文読解速習用教材	中2～中3
15	長文対話文読解③	中1・2年分野長文対話文読解速習用教材	中2～中3
16	公立長文読解①	公立長文読解速習用教材	中3
17	公立長文読解②	公立長文読解速習用教材	中3
18	公立長文読解③	公立長文読解速習用教材	中3
19	英単語演習	「英語合格への道」の単語演習用教材	中1～中3
20	英語合格への道※	高校受験必須単語・構文のまとめ	中1～中3

※英語合格への道：高校入試に必要な単語・語形変化・重要構文・熟語・重要表現をまとめたものです。日頃の暗記用に使用してください。なお、重要構文は1A・2A・3Aと同じ内容です。

■数学の進め方

【中3の場合】

◆学力の状況と弱点分野に応じて分野を選択して進める

(1)【計算が弱い生徒は、まずはここから】

●中1計算, 中2計算, 中3計算

→更に練習が必要なら②正負の数, ⑩式の計算, ⑱展開と因数分解, ⑲平方根

※計算方法が分からないときは、先に答えを見て理解させる。

※ただし、中3計算については解説がないので、指導が困難な場合は⑱展開と因数分解, ⑲平方根で代替。

(2)【計算が大丈夫なら】

●文字式

③文字式

(ここは必ず最初に行う！)

●方程式分野

④一次方程式

⇒

⑪連立方程式

⇒

⑳二次方程式

●関数分野

⑤比例・反比例

⇒

⑫一次関数

⇒

㉑二次関数

●平面・空間図形

⑥平面図形

⇒

⑦空間図形

⇒

㉒三平方の定理

●求角, 証明

⑬平行線と角・
円周角

⇒

⑭三角形の合同と
平行四辺形

⇒

㉓図形と相似

●確率

⑮確率

●中3の基本

⑱展開と因数分解

⇒

⑲平方根

●まとめ

⑧ZERO 1

⑯ZERO 2

㉔ZERO 3

※ZEROは短期間で総復習を行う必要があるときや、偏差値60以上の生徒の弱点分野を発見するとき
に使用。各テキストのまとめの問題を1冊に編集したテキストなので、**重要なテストの直前や入試直前に
使用するとより効果的です。**

【中1・2の場合】

◆定期テストで高得点を目指すことを最優先とする。

生徒のモチベーションが上がるときはどんな時だと思いますか。成績アップに必要な不可欠な要素の「やる気」。「やる気」が高まるときは、今まで行ったことが「目に見えた結果」に表れるときです。実力養成ももちろん大切なことですが、特に中学1・2年生は学校の定期テストで高得点を目指しましょう。

次ページにある表をもとにAタームは学校の定期テスト対策期間、Bタームは実力養成期間としてミラクルロードを進めてください。

数学ミラクルロード 3年間の予定

Aターム・・・学校の定期テスト対策期間

Bターム・・・実力養成期間

中学1年生

Aターム 3・4・6月	Bターム 6・7・8月	Aターム 8・9・10・11月	Bターム 11・12・1月	Aターム 1・2月	Bターム 2・3月
<ul style="list-style-type: none"> ・①中1計算 正負の数, 文字式 ・②正負の数 1冊目 ・③文字式 1冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・②正負の数 2冊目 ・③文字式 2冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・①中1計算 一次方程式 ・④一次方程式 1冊目 ・⑤比例反比例 1冊目 ・⑥平面図形 1冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・③文字式 3冊目 ・④一次方程式 2冊目 ・⑤比例反比例 2冊目 ・⑥平面図形 2冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑦空間図形 1冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・④一次方程式 3冊目 ・⑤比例反比例 3冊目 ・⑥平面図形 3冊目 ・⑦空間図形 2冊目

中学2年生

Aターム 3・4・6月	Bターム 6・7・8月	Aターム 8・9・10・11月	Bターム 11・12・1月	Aターム 1・2月	Bターム 2・3月
<ul style="list-style-type: none"> ・⑨中2計算 式の計算, 連立方程式 ・⑩式の計算 1冊目 ・⑪連立方程式 1冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑦空間図形 3冊目 ・⑩式の計算 2冊目 ・⑪連立方程式 2冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑫一次関数 1冊目 ・⑬平行線と角 1冊目 ・⑭三角形の合同 1冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑪連立方程式 3冊目 ・⑫一次関数 2冊目 ・⑬平行線と角 2冊目 ・⑭三角形の合同 2冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑮確率 1冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑫一次関数 3冊目 ・⑬平行線と角 3冊目 ・⑭三角形の合同 3冊目 ・⑮確率 2冊目

中学3年生

Aターム 3・4・6月	Bターム 6・7・8月	Aターム 8・9・10・11月	入試対策 12・1・2・3月
<ul style="list-style-type: none"> ・⑰中3計算 展開, 因数分解, 平方根 ・⑱展開・因数分解 1冊目 ・⑲平方根 1冊目 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑮確率 3冊目 ・中1, 中2内容 総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑰中3計算 二次方程式 ・⑳二次方程式 ・㉑二次関数 ・㉒相似 ・㉓三平方の定理 	

◆学習上の注意

- しっかり考えて問題を解くようにする。
- 1ページずつ答え合わせをする。
- 分からない問題は解答の解説を読んだり, ミラクルロード解説授業を視聴したり, 出来るだけ自力で解くようにする。
- テキストの計算スペースが少ないので, 必要に応じてノートに計算する。

- 間違った問題は, 必ずノートなどに書き直す。
- 方程式の文章問題については, 出来る生徒は立式のみでよい!

◆出来具合の確認と対処

- 正答率が8割以上の場合
- 正答率が6割以上8割未満の場合
- 正答率が6割未満の場合

- 間違った問題を裏に書き直し、次へ
- もう1回同じテキストを解き直す
- あと2冊同じ教材を最初から進めてください

数学教材一覧

NO	教材名	内容	分野
1	『中1計算』	正負の数, 文字式, 1次方程式	中1
2A	『正負の数基礎』	正負の数の意味, 正負の数の加減, 正負の数の乗除, 正負の数の四則計算, 正負の数のまとめ	中1
2B	『正負の数応用』		中1
3A	『文字式基礎』	文字式の表し方, 文字式の計算, 関係を表す式, 文字式のまとめ	中1
3B	『文字式応用』		中1
4A	『1次方程式基礎』	1次方程式とその解法, 1次方程式の利用, 1次方程式のまとめ	中1
4B	『1次方程式応用』		中1
5A	『比例・反比例基礎』	比例, 反比例, 比例・反比例のまとめ	中1
5B	『比例・反比例応用』		中1
6A	『平面図形基礎』	平面図形, 平面図形のまとめ	中1
6B	『平面図形応用』		中1
7A	『空間図形基礎』	空間図形, 立体の切断, 空間図形のまとめ	中1
7B	『空間図形応用』		中1
8	ZERO1	中1の総まとめ	中1
9	『中2計算』	式の計算, 連立方程式	中2
10A	『式の計算基礎』	単項式と多項式, 式の利用, 式の計算のまとめ	中2
10B	『式の計算応用』		中2
11A	『連立方程式基礎』	連立方程式の解法, 連立方程式の利用, 連立方程式のまとめ	中2
11B	『連立方程式応用』		中2
12A	『1次関数基礎』	1次関数とグラフ, 2元1次方程式とそのグラフ, 1次関数のまとめ	中2
12B	『1次関数応用』		中2
13A	『平行線と角基礎』	平行線・多角形と角	中2
13B	『平行線と角応用』	円周角の定理, 平行線と角・円周角のまとめ	中2
14A	『三角形の合同と平行四辺形基礎』	合同と証明, 三角形と合同, 平行四辺形, 平行線と面積, 三角形と合同と平行四辺形のまとめ	中2
14B	『三角形の合同と平行四辺形応用』		中2
15A	『確率基礎』 ※	確率, 確率の応用, 確率のまとめ	中2
15B	『確率応用』 ※		中2
16	ZERO2	中2の総まとめ	中2
17	『中3計算』	展開と因数分解, 平方根, 2次方程式	中3
18A	『展開と因数分解基礎』	式の展開, 因数分解, 式の計算の利用, 展開と因数分解のまとめ	中3
18B	『展開と因数分解応用』		中3
19A	『平方根基礎』	平方根, 平方根の計算, 平方根のまとめ	中3
19B	『平方根応用』		中3
20A	『2次方程式基礎』	2次方程式とその解, 2次方程式の利用, 2次方程式のまとめ	中3
20B	『2次方程式応用』		中3
21A	『2次関数基礎』	2乗に比例する関数, いろいろな関数, 2次関数のまとめ	中3
21B	『2次関数応用』		中3
22A	『図形と相似基礎』	相似な図形, 平行線と線分の比, 中点連結定理, 線分の比と面積比, 図形と相似のまとめ	中3
22B	『図形と相似応用』		中3
23A	『三平方の定理基礎』 ※	三平方の定理立体図形と三平方の定理, 三平方の定理のまとめ	中3
23B	『三平方の定理応用』 ※		中3
24	ZERO3	中3の総まとめ	中3

■理科の進め方

◆自分の学力に基づき、優先順位をつけて進める

苦手な分野を中心に進めるのだが、出来ている分野についても抜けをなくするために全てのテキストを1回は学習したほうが良い。すべてのテキストを最低1回は学習し、苦手な分野は2回、3回と繰り返すと考えて進めるのがベスト！

テキストを進める順番はどこからでも良いが、理科が苦手な生徒の場合は点数に現れやすい分野から、理科が得意な生徒の場合は弱点分野から進めたほうが良い。

◆指導上の注意

○テキストの最初は「合格への道 一問一答」形式の問題になっている。このページは、用語の解説部分にも空欄を設けているため、初めて進める場合は分かりづらい。分かる問題のみ時間をかけずに解答し、答え合わせを行った後にしっかり理解・暗記すると良い。その後、ページ裏の同じ問題で確認テストを試してみる。

○チェック1は「合格への道 図表」形式の問題になっている。このページは、テストでよく問われるものを厳選しているので、そのまま暗記する。

◆出来の確認と対処

- ①とても良く出来ている場合→見直し、次へ
- ②全体的に出来ている場合→間違った問題をノートに書き直し、次へ
- ③あまりできていない場合→もう1回同じテキスト

理科教材一覧

NO	教材名	内容	分野
1	中1物理1	光と音の性質	中1
2	中1物理2	力と圧力	中1
3	中1化学1	物質の性質・気体の性質	中1
4	中1化学2	物質の状態変化	中1
5	中1化学3	水溶液の性質	中1
6	中1生物1	植物のつくり	中1
7	中1生物2	光合成と呼吸	中1
8	中1地学1	地層と岩石	中1
9	中1地学2	地震と大地	中1
10	中2物理1	電流	中2
11	中2物理2	電流のはたらき	中2
12	中2化学1	分解と化合	中2
13	中2化学2	化学変化の決まりと物質の仕組み	中2
14	中2生物1	消化と呼吸	中2
15	中2生物2	運動の仕組みと動物の仲間	中2
16	中2地学	空気中の水・天気	中2
17	中3物理	運動とエネルギー	中3
18	中3化学	イオン、化学変化とエネルギー	中3
19	中3生物	生物と細胞、遺伝	中3
20	中3天体	天体	中3
21	理科合格への道	高校入試必須一問一答集	中1～中3

■社会の進め方

◆学力に基づき、分野の優先順位をつけて進める

地理・歴史・公民とも地域と地域、時代と時代に関連があるので、最初からすべて進めていく。1冊2～3時間で終わるので時間的にも可能。定着が不十分な分野については何度も繰り返しやっていく。

ただし、弱点分野だけ早急に確認したい場合は、その分野のミラクルロードを選んで進めても良い。また、地理は必要に応じて学習しても良い。(出来れば全部学習した方がよいが、地図など教科書レベルよりも詳しい所もあるので生徒の学力に合わせてしなくてもよいところがある。)

◆学習上の注意

○テキスト前半の合格への道(語句・地図・グラフ)のページは、分かる問題のみ時間をかけずに解答し、答え合わせを行った後にしっかり理解・暗記する。その後、ページ裏の同じ問題でもう一度問題を解く。

○語句を暗記したら、チェック 1, チェック 2, トライで確認する。**チェック1, チェック 2, トライで解くことが出来なかった問題は反復シートやノートに書き直し覚えてください。**

社会教材一覧

分野	NO	教材名	内容	学年	
				平行型	直列型
地 理	1	世界のさまざまな地域	地球のすがた, 世界のすがたとさまざまな地域	中1	中1
	2	アジア州 ※	アジア州	中1	中1
	3	ヨーロッパ州・アフリカ州 ※	ヨーロッパ州・アフリカ州	中1	中1
	4	北アメリカ州 ※	北アメリカ州	中1	中1
	5	南アメリカ州・オセアニア州・世界のさまざまな地域の調査 ※	南アメリカ州・オセアニア州・世界の様々な地域の調査	中1	中1
	6	世界から見た日本のすがた1	日本のすがた, 世界から見た日本の自然環境	中2	中1
	7	世界から見た日本のすがた2	世界から見た日本の人口・資源・エネルギーと産業・世界との結びつき	中2	中1
	8	九州・中国・四国地方 ※	九州・中国・四国地方	中2	中1
	9	近畿・中部地方 ※	近畿・中部地方	中2	中1
	10	関東・東北地方 ※	関東・東北地方	中2	中1
	11	北海道地方・身近な地域の調査 ※	北海道地方・身近な地域の調査	中2	中1
	12	グラフ・資料	農林水産業・地下資源・各国の貿易・工業生産額・雨温図などのグラフの演習	中2	中1

※の単元については、どの教科書メーカーでも対応できるように数多くの地域を掲載しています。**この単元については教科書メーカーの状況に応じて、該当する項目だけを選んで学習を行ってください。**

分野	NO	教材名	内容	学年	
				平行型	直列型
歴史	13	古代の日本	古代～飛鳥時代	中1	中2
	14	古代国家から武家社会へ	奈良～鎌倉時代	中1	中2
	15	中世の日本と天下統一	室町～安土桃山時代	中1	中2
	16	江戸幕府	江戸前期～中期	中1	中2
	17	江戸幕府滅亡	ヨーロッパ市民革命と江戸後期	中1	中2
	18	明治維新から近代日本へ	明治維新～自由民権運動, 帝国議会	中2	中2
	19	日清・日露戦争と第一次世界大戦	日清・日露戦争～第一次世界大戦	中2	中2
	20	第二次世界大戦から現代日本へ	世界恐慌～現代の日本	中2	中2
	21	歴史超特急	歴史速習用教材: 重要ポイントのみを学習	中1・2	中2
	22	歴史のバイブル	歴史の短期総まとめ用教材	中1・2	中2

分野	NO	教材名	内容	学年
公民	23	現代社会と日本国憲法	現代社会・日本国憲法	中3
	24	基本的人権, 選挙と政党	基本的人権・現代の民主政治	中3
	25	国会・内閣	国会と内閣	中3
	26	裁判所, 地方自治	裁判所, 地方自治	中3
	27	消費生活と経済	消費生活, 流通, 企業と生産, 労働者の件	中3
	28	市場経済と金融・財政と社会保障	市場経済, 貨幣と経済, 財政, 社会保障	中3
	29	地域社会とわたしたち	国際社会と世界平和, 国際問題とわたしたち	中3
	30	公民最終チェック	公民の短期総まとめ用教材	中3

分野	NO	教材名	内容	学年
総合	31	社会合格への道	入試必須一問一答集	中1～中3